

新潟市美術館・新津美術館所蔵品による

秋葉区ゆかり の作家たち

2022年

1月 22日 (土)



3月 6日 (日)

月曜休館 (1月24日、2月21日は開館)

開館時間 10:00~17:00
(観覧券の販売は16:30まで)

新型コロナウイルス感染防止のため
ご理解とご協力をお願いいたします

主催 新潟市新津美術館

観覧料 一般500円 大学・高校生300円
中学生以下無料

- ※有料20名様以上は団体料金で2割引
- ※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料
(手帳をご提示ください)
- ※2度目はオトク!リピーター割引
(半券のご提示で、2度目の「秋葉区ゆかりの作家たち」が
2割引でご覧いただけます)
- ※新潟県立植物園もしくは新潟市新津鉄道資料館の入館券
ご持参の方は2割引

 新潟市新津美術館

〒956-0846 新潟市秋葉区蒲ヶ沢109番地1
花と遺跡のふるさと公園内 新潟県立植物園となり

TEL. 0250-25-1300

<http://www.city.niigata.lg.jp/nam/>



阿部展也《作品》1950年 油彩、カンバス 新潟市美術館蔵



笹岡一《流沙》1968年 油彩、カンバス 当館蔵



式場庶子《子どものうた 春の使い》1978年 木版、紙 当館蔵

新潟市美術館と新潟市新津美術館、二館の所蔵品による「秋葉区ゆかりの作家たち」を開催します。

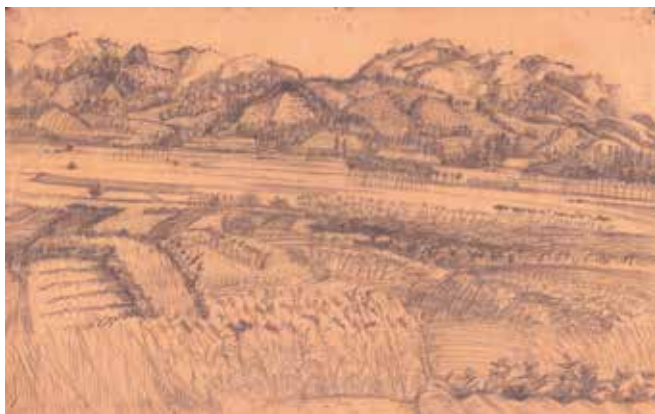
新津美術館(1997年開館)は、地域に根差した美術館として、笹岡一をはじめとする秋葉区ゆかりの作家の作品を収集・展示してきましたが、新潟市美術館(1985年開館)も、旧小須戸町ゆかりの砂井正七や阿部展也など、現在の秋葉区ゆかりの作家の作品の収集・展示を続けてきました。

本展では、そうして形成された両美術館のコレクションの中から、日本画、洋画、版画、彫刻、写真など多彩な分野にわたる秋葉区ゆかりの作家たち18名の作品約180点を、「砂井正七——大正期の眼差し」「昭和の戦争——笹岡一と阿部展也」「戦後の笹岡一」「阿部展也とその後の〈抽象〉」「伝統と個性」「春の花と生命の輝き」という六つのテーマに分けてご紹介します。

新津美術館が立地する地域で生まれ、郷土の美術史で語り継がれる作家たちの作品をご覧ください。



高橋五仙子《新潟町絵図》(部分) 1960年頃 顔料、紙 当館蔵



砂井正七《(作品)》1916年 鉛筆、紙 新潟市美術館蔵



秋山庄太郎《チューリップ》1987-90年 カラープリント 当館蔵

こどもタイム♪

2/3、2/17、3/3の各木曜日 10:00~13:00、会場内にBGMが流れます♪

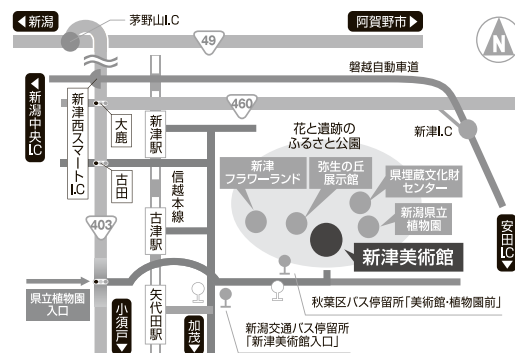
会期中の美術講座 聴講無料・事前申し込み不要、定員35名

	講座名	講師名
1/29 (土)	秋葉区ゆかりの阿部展也	松沢 寿重(当館館長)
2/12 (土)	女優 岡田茉莉子 ～木下恵介監督作品を中心に～	渡邊 由里(当館学芸員)
2/26 (土)	描かれた子どもたち ～西洋美術編～	山岸 亜友美(当館学芸員)
3/6 (日)	彫刻家・三木俊治と新潟の作家たち	奥村 真名美(当館学芸員)

各回14:00~15:30 当館1階レクチャールームにて

交通案内

- JR** ・JR古津駅から徒歩約25分/JR矢代田駅から徒歩約35分
・JR新津駅からタクシー約15分/JR矢代田駅からタクシー約35分
- お車** ・新潟方面から、国道49号線を国道403号線で加茂・新津方面(新潟駅から約20km、約45分)
・磐越自動車道、新津ICから約20分/新津西スマートICから約15分(新津西スマートICは会津若松方面の出入りにはできません)
※無料駐車場有(250台)/新潟県立植物園無料駐車場も利用可能
- バス** ・JR新津駅東口バス停から、秋葉区バス「新津駅西口行」に乗車約25分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ
もしくは新潟交通バス「矢代田経由白根・湯東行」に乗車約15分、「新津美術館入口」で下車、徒歩約5分
・JR矢代田駅前バス停から、秋葉区バス「新津駅東口行」に乗車約10分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ
もしくは新潟交通バス「新津駅行」に乗車約5分、「新津美術館入口」で下車、徒歩約5分



新潟市美術館 TEL.025-223-1622
「LOVE & LIFE コレクションより愛をこめて」2月26日(土)~3月27日(日)